1.　学校番号	313

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新編　言語文化」　（大修館書店）						
副教材等	「新訂版　常用国語便覧」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業で課せられた作文や発表の課題に対して、自ら考え、周囲と協働しながら考えを整理する習慣をつけてください。
・現代文や古文など様々な文章を通じて「読む能力」を向上させ、また文章から考えたことや感じたことを伝えるための「書く能力」を身につけてください。
・学習目標をたて、定期考査や小テストに計画的に取り組んでください。また、提出課題は期限を守り、評価基準を理解して取り組んでください。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その性質を理解し適切に使っている。また、我が国の言語文化について、理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活の中での他者との関わりにおける伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりしようとしている。	言葉を通して他者や社会に関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。また言語感覚を磨き、言語活動で効果的に活かそうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する。 ［教材］ 「言葉の森を育てよう」	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 c：言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直そうとしている。	・定期考査 ・確認テスト （漢字テストを含む）	・定期考査 ・ワークシート	・ワークシート
	登場人物の人間関係や心情、印象的な言葉や表現などを意識しながら、作品を味わう。 ［教材］ 「一瞬の風になれ」	a：・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 c：・読書に興味をもち、登場人物の人間関係や印象的な言葉などを意識しながら作品を味わおうとしている。	・定期考査 ・確認テスト （漢字テストを含む）	・定期考査 ・ワークシート	・ワークシート
	古文に親しみ、古文で用いられる言葉や構造についての理解を深める ［教材］ 「いろは歌」 「児のそら寝」	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化について理解している。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえることができる。 c：積極的に仮名遣いや古文の構造を理解しようとしている。また作品に興味をもち、物語の内容（漢字の読みの多様性）を積極的に読み取ろうとしている。	・定期考査 ・確認テスト （漢字テストを含む）	・定期考査 ・ワークシート	・ワークシート
	・詩歌の形式や表現の特徴について理解を深める ［教材］ 春のうた／夏のうた	a：・詩歌に親しみ、理解するために必要な文語のきまりや訓読のきまり、詩歌の形式、古典特有の表現などについて理解している。 b[書]：「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現のしかたを工夫している。 c：・四季の詩歌を読むことに興味をもち、詩の形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	・定期考査 ・確認テスト （漢字テストを含む）	・定期考査 ・ワークシート	・ワークシート
二学期	小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 ［教材］ 「羅生門」	a：・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 c：・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	・定期考査 ・確認テスト（漢字テストを含む）	・定期考査 ・ワークシート	・ワークシート
	音読して古文の読みに慣れ、文章の特色を理解する。		・定期考査	・定期考査 ・ワークシート	・ワークシート

	［教材］ 枕草子「うつくしきもの」	a:・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[書]:「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 c:『枕草子』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもとうとしている。	・確認テスト(漢字テストを含む)		
	・音読して古文の読みに慣れ、文章の内容を正確に読み取る ［教材］ 徒然草「神無月のころ」	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。[B(1)ア] ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 c:『徒然草』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもとうとしている。	・定期考査 ・確認テスト(漢字テストを含む)	・定期考査 ・ワークシート	・ワークシート
	・詩歌の形式や表現の特徴について理解を深める ［教材］ 秋のうた/冬のうた	a:・詩歌に親しみ、理解するために必要な文語のきまりや訓読のきまり、詩歌の形式、古典特有の表現などについて理解している。 b[書]:「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現のしかたを工夫している。 c:・四季の詩歌を読むことに興味をもち、詩の形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	・定期考査 ・確認テスト(漢字テストを含む)	・定期考査 ・ワークシート	・ワークシート
三学期	漢文の訓読のきまりについて理解する。 ［教材］ 訓読のきまり/格言	a・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c:・漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。	・定期考査 ・確認テスト(漢字テストを含む)	・定期考査 ・ワークシート	・ワークシート
	漢文で語られている教訓の意義を理解する。 ［教材］ 五十歩百歩	a:・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 c:漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組み、故事成語の理解を深めようとしている。	・定期考査 ・確認テスト(漢字テストを含む	・定期考査 ・ワークシート	・ワークシート

	作品の状況設定を的確にとらえ、叙述から人物の心情や象徴性を読み取る。 ［教材］ 「夢十夜」第一夜	a:我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 c:作品に興味をもち、作品の表現に注目しながら読もうとしている。	・定期考査 ・確認テスト(漢字テストを含む	・定期考査 ・ワークシート	・ワークシート

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　10　）時間

・読むこと　…　（　60　）時間